

左近山中だより

令和2年12月21日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 8

「自主自律」

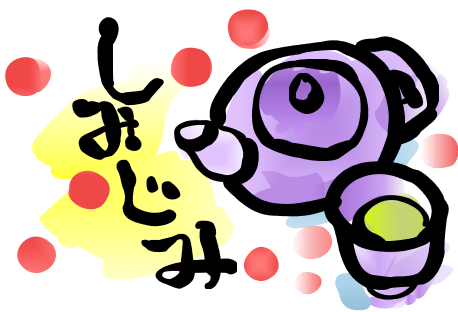
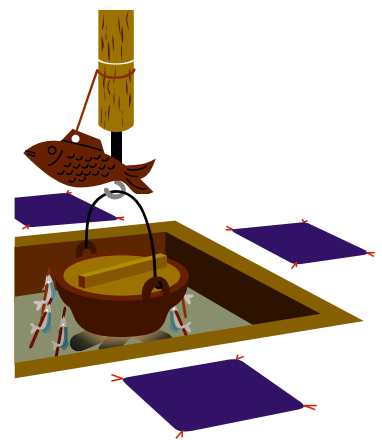
副校長 羽山 悟

令和2年も残すところあとわずかになりました。桜や紅葉の葉が色づいた季節から、舞い散る様子で冬の到来を告げています。街では、クリスマスツリー、店先にはポインセチアやシクラメンがきれいに色づきながら並んでいます。その例年通りの風景が見られるものの、新型コロナウイルス感染症は未だに続いている状況です。今まで通りの生活ができない制限が多いときだからこそ、自分を見つめ、人と関わることの大切さなどを改めて感じ、自分と向き合いながら、少しでも前向きに考えていけたらと思います。

先日、生徒会本部役員選挙、後期専門委員選出が行われました。一人ひとりが左近山中学校生徒としての自覚をもって新しい生徒会組織をスタートしました。私は、前期後期の切り替え時期を見て、自らが卒業した高校の校訓「自主自律」であったことを思い出しました。常にひとつ上を目指して自らを考え、仲間と切磋琢磨することで人間力の向上を図るということです。言い換えると、次の準備をする。自ら学習に取り組む。さらに、人と上手に関わり気持ちをコントロールする。自らの言動や行動を工夫することを自らの力で実践していくことです。

今年はコロナ感染症に大きく影響を受けた年でした。しかし、私たち自身が粘り強く前に進んでいこうとする意志をもち続けることが大切であると思います。今置かれている環境や状況のせいにしていても、決して良い方向には進んでいきません。どのような状況でも人としての強さをもつべきであること。そして様々な状況にも感謝すべきであることを意識しながら日々過ごしていきたいと思えます。

最後に、今年もまた、本校の教育活動の為にご理解ご協力いただきありがとうございました。来年は、新型コロナウイルス感染症も収まり平常に戻ることと、生徒のみなさん、保護者のみなさま、地域のみなさまにとって良い年でありますように願っています。



1月26日（木） 学校保健委員会

テーマ『左近山中のみんながもっと健康になるために』

～健康生活アンケートからのまとめと考察～

本校の学校保健委員会は、例年全校生徒、教職員、保護者が参加し行ってきました。今年度はコロナ感染症対策を取りながら、体育館（1年生）、武道場（2年生）、多目的ホール（3年生）に分かれて各学年の保健安全委員生徒が発表を行い、その後クラスでの活動となりました。

内容としては、前半は健康生活アンケートのまとめと考察でした。昨年度の2月、後期委員会の企画で、2，3年生に健康生活アンケート（基本的な生活習慣やストレスに関して）をとりました。



また、コロナ感染症による休業あけの今年の7月、アンケートの内容を改めて考え全校調査をしました。

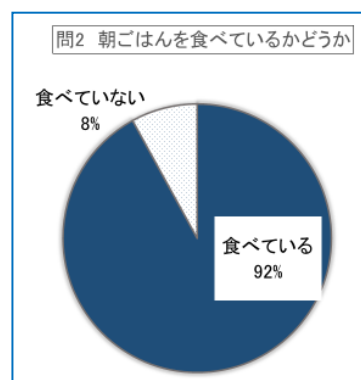
委員生徒が学年ごとに集計し、仮説をたて、結果をまとめました。さらに他の学年との比較、考察をしたものを、グラフを用いて発表をしました。生徒は自分たちが回答した結果と委員の発表に関心をもって聞いている様子でした。

後半は、振り返りでした。まずは発表を聞き考えた事、より健康に過ごすためにできそうなことを個人で記入しました。次にクラスの生活班で意見交換し、各班で話した内容や意見を発表し全体で共有の後、担任からの助言を聞きました。最後は、もっと健康になるために自らの決意を記入しました。

発表者は、時間をかけ準備を重ねてきました。発表時は、緊張もありましたが、それまでの地道な活動を形にして表現できた経験は、今後の自分の糧になると振り返っていました。学年を追うごとに、より主体的に考える姿勢が見られました。また、聞く側が自分のこととして捉えらえるように伝えたいという視点をもっており、成長とともに頼もしさを感じました。

各自の振り返りは、自分の生活と照らし、睡眠時間の調整やゲームやスマホなどの使い方、ストレスの解消法など、その日から改善できそうなことが挙げられていました。生徒全員が決意まではできました。あとは「実行！」です。小さな物事の積み重ねが、やがて心身の変化につながります。ご家庭でも話題にしてみてください。

（保健安全委員会担当）



人権学習・人権標語作りについて

【人権学習】

左近山中学校では、人権学習の一環として11月に人権教育講演会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、11月24日に各教室で道德の時間を使って人権学習を行いました。「様々な人がともに安心して生活するために、私たちにできることはどんなことでしょうか。」という問いに対する生徒の考えを一部紹介します。

- 自分とは違う考えをもっている人を受け入れる心をもつ。
- 一人ひとり考え方や性格が違うということを考えて、理解しようと努力することが大切。
- いろいろな人がいるということを理解し、自分の常識を人に押し付けない。
- 悩みを抱えている人に偏見を持たず、ありのままのその人を受け入れることが大事。

生徒の皆さんの考えに共通していることは、「様々な考え方や性格の人がいるということを理解することが大切」ということでした。

【人権標語作り】

人権週間の取組として、12月14日の道德の時間に人権標語作りをしました。はじめ、男女平等、環境問題、戦争と平和などそれぞれのテーマに合わせて標語を作り、葉っぱに標語を書いて、クラスで人権の木を作成しました。各クラスの人権の木は廊下に掲示していますので、みんなが「人権＝人として生きる権利」について日ごろどのように考えたり、感じたりしているのか、ぜひ読んでみてください。



【まとめ】

今年度も人権学習・人権標語作りと人権について学習をしてきましたが、学習をする時間だけ人権について意識すればよいというわけではありません。日ごろから様々な考え方や性格の人がいるということを理解し、自分とは違う考え方や性格の人がいることを受け入れ、まずは自分と関わってくれる様々な人たちの気持ちを大切にして生活していきたいものです。

(人権学習担当)

部活動での活躍！

男子バスケットボール部
神奈川県新人大会出場

卓球部 横浜市秋季卓球大会
女子団体の部 準優勝

卓球部 女子団体戦
神奈川県卓球大会出場

卓球部 女子個人戦
4名神奈川県卓球大会出場

音楽部
オンラインフェスティバル2020出演
詳しくは旭区役所ホームページをご覧ください。

「来年度の昼食」

左近山中学校の昼食は、以下の①～④の方法を選択し用意していただきます。

- ① 自宅から家庭弁当を持ってくる。
- ② 登校途中で弁当を買ってくる。ゴミは自宅に持ち帰る。
- ③ 登校したら、からあげ大ちゃん（¥500）で注文し、昼食前に配膳場所にとりに行く。
- ④ 「ハマ弁」から「横浜市中学校給食」に名称が変わります。
アプリで登録、注文（セット¥330〈ごはん、おかず、汁物、牛乳〉）して、昼食前に配膳場所へとりに行く。

※今までとほとんど変わりありません。

※横浜市中学校給食についての詳細は、リーフレットをお読みください。

よいお年を



12月25日（金）から冬休みがスタートします。冬休みの終わりが、1月5日（火）で、12日間の長い冬休みとなります。冬休み明けは1月6日（水）からです。

片付けや大掃除などをして、新年を迎える準備のお手伝いができると思います。新しい年に向けてしっかり目標を立てましょう。



学校閉庁日のお知らせ

本校では、12月28日～1月3日は学校閉庁日となっております。大変お手数ではありますが、1月4日以降のご連絡をお願いいたします。なお、緊急の場合については、横浜市教育委員会西部学校教育事務所 ☎336-3743へ、平日の8時30分から17時15分の間におかけください。